

クラス会 (13クラス会)

全国のクラス会のご紹介です。毎年たくさんのクラス会が催され、ご寄稿いただいています。紙面の都合上、写真は1枚、原稿は800字までとさせていただきます。何卒ご協力のほどお願い致します。

1 農芸化学科 クラス会 第18回卒業生クラス会

2023年10月15～16日、宇都宮ロマンチック村にて、標記のクラス会が開催され、9名が参集した。当初、卒業50年の節目に開催ということで、2020年が開催予定であったが、新型コロナウイルスの拡大により延期、延期で、ようやく卒業53周年目の開催に漕ぎつけた。参加者は、連絡可能なクラスメンバー21名中13名が参加する予定であったが、皆76歳を超えており、体調不良、特に腰痛悪化や、風邪、病氣入院などで次第に減ってしまっていたが、9名が元気に再会した。

夕食会ののち、参加者交流会に移り、若き学生時代の食品加工実習や学生実験、卒論研究室の思い出などで盛り上がり、夜11時ごろまで歓談が続いた。

翌日は、近くの若竹の杜「若山農場」を40分ほどかけて散策し、さまざまな種類の竹林に感動しつつ見学を終了し、母校に向かった。母校では大学会館内の生協食堂で、早めの昼食を摂った。岩田、岡本両君は、かつての硬式・準硬式野



球部の思い出を探るということで野球場を見に行っただが、その後皆で改装された農芸化学棟内を一巡して解散した。参加者の何人かは、新しく開業したばかりのLRTにて、陽東3丁目停留所からJR東口まで乗車して帰宅の途に着いた。

久々のクラスメンバーの再会と母校見学で50数年前の学生時代を思い起こしたのではないかと推察。数年後にでも、またできるだけ多くの面々が集える機会を持てればよいと思いつつ、難しくなってきた感も否めない。

(文責：宇田 靖)

2 農学科(昭和42年4月入学)クラス会 クラス会 5年ぶりに開催

コロナ禍がやっと落ち着いてきたこと、さらに農学部100周年記念事業が開催されることになったことから、この記念事業に合わせて、令和5年11月17日(金)水戸市のホテル「ルートイン県庁前」にて、5年ぶりに開催されました。

今回は、兵庫県の橋本伸一さん、山形県の田中順一さん、福島県の只野須寿夫さん、関東では、東京都藤平幸男さん、千葉県宇井正一さん、埼玉県湯本耿介さん、栃木県小林定男、鈴木忠、猪瀬博の3君、それに幹事の茨城県高橋栄二・菊池正藏の計11名での開催となりました。

懇親会は、会場のホテルに隣接した「はなの夢・まぐろや」という居酒屋でしたが、前回から5年ぶりということもあって、それぞれの話に花が咲き、2時間があっという間に過ぎてしまいました。閉会後は、ホテルのロビーに場を移しての2ラウンドとなりましたが、なお途切れる事なく話が弾み、幹事が「もう、そろそろ…」と声をかけるまで続きました。

翌日は、小春日和の中、紅葉の始まった旧茨城県庁に車を止め、隣接する水戸藩校の「弘道館」、再建された「大手門」、水戸城で唯一現存する「薬医門」など、水戸城三の丸から本

丸跡まで、歴史散歩を楽しみ、昼食を食べて散会となりました。

昭和42年春に入学した私たちも全員が後期高齢者の仲間入りをして、返信はがきには、足が痛い、腰が痛い、心筋梗塞を患った等々健康面の不調を訴える級友が、少しずつ増えている気がしますし、一方で長いコロナ禍の中で出不精になってしまった級友もいるのではと慮られます。

今回は、宇井さんのご配慮により、是非、千葉県で…ということとなりましたので、多くの級友の参加のもと、元気な姿で再会できることを願っております。

(文責：高橋 栄二・菊池 正藏)



3 農学科第20回生宇都宮でのクラス会 クラス会 (昭和47年3月卒業)

令和5年6月、4年ぶりに群馬県伊香保でクラス会が開催されました。その席上、誰が言うともなく、宇大農学部の百周年記念式典に併せて宇都宮でクラス会をやるのではないかと声。同一年に二回のクラス会です。時間的、金

銭的にどのくらいの級友が参加してくれるかと思っていました。また計画の当初は百周年記念式典も未確定な点がありました。しかし、8月を過ぎる頃には具体化しましたので、クラス会もそれに沿って進められました。

11月18日午後2時、JR宇都宮駅に近いホテルに集合です。後期高齢者になりつつある私達ですので、転んで足を痛めたとの欠席連絡もあり、参加者は19名となりました。

ロビーでは「元気にしていたか？変りないか？」など互いの挨拶とともに、再会の握手です。午後3時になるとともに百周年記念式典に参加する者、宇都宮市街を見て回りたい者、ゆっくりロビーで語り合いたい者など、さまざまに各自の行動になりました。百周年記念式典ではやや薄暗かったせいか、恩師の先生が近くの席に座っているのも気が付かず、「なんだ来ているのか」、「え？先生！お久しぶりです。気付かず、大変失礼しました」と楽しい談笑が始まりました。

ホテルでの懇親会では、幹事長の歓迎の挨拶、家庭の事情で徐々に再開した友人による乾杯。それに引き続き、参加者の近況報告です。各自それぞれの趣味の話、健康の事などが話されると、同感だと頷く者、よかったと拍手をするものなど、それぞれの家庭での出来事が垣間見られました。また、次回は埼玉県での開催が決まり、担当の幹事さんからの挨拶になりました。二次会は夫妻で参加の級友の部屋に移動です。恒例の各自が持参した地元のお酒をはじめ、自宅で収穫した果物やつまみが並べられ、夜遅くまでの歓談でした。



翌日は、10月に出来たLRTに初めて乗りながら大学構内を散策するグループ、学生時代に生活した旧志峰寮跡地に行くものなど、自由行動となりました。志峰寮跡地に残る桜の木は、今回参加した級友が50年前に旧林学科の先生のご指導のもと植樹したとのこと。幹回りは70cmにもなっており、思い出深く写真に収めていました。その後、埼玉での再会を念じながら三々五々家路につきました。
(文責：金子 幸雄)

4 農業経済学科クラス会 (昭和48年卒業)

2023年11月18、19日、宇都宮大学の学園祭（峰ヶ丘祭）と農学部創設100周年記念行事（昨年であったがコロナ禍で延期された）にあわせて、農業経済学科1973年卒のクラス会を開催しました。

学科ビル前に集合し、友の姿かたちと学内の変貌に驚き、峰ヶ丘祭では孫のような学生のエネルギーに圧倒され、青春を過ごした日々を懐かしく思い起こしました。その後ろまんちっく村に移動し、「宇大浪漫」の芋・麦焼酎を堪能し、地域社会や自らの日々を老年期の教養＝今日用がある、教育＝今日行く所があるに努めていることを披露しあいました。

最後に秋田から来た友が①また遠くない時期に開催しよ



う②それまで元気でいよう③さらにその後20年は元気に生きて100歳を見通そうと三つの提案をして、卒業後50年のクラス会を終えました。

(文責：谷澤 良一)

5 農業開発工学科 昭和48年度入学クラス会

昭和48年度に農業開発工学科入学した同期生（卒業年次は問わない）は「農業開発工学科昭和48年度入学同期会」と称して、第1回を栃木県那須塩原温泉で平成29（2017）年に開催し、その席上で今後は隔年開催とすることを決め、第2回を令和元（2019）年に滋賀県雄琴温泉で開催し、第3回は令和3（2019）年に東北地方で開催することとして散会しました。

しかし、その後の新型コロナウイルス感染症の流行により開催の延期を重ね、令和5年5月に感染症が第5類に移行したことにより、7月2日(日)～3日(月)の日程で岩手県盛岡市繫温泉を会場に4年越しの開催となりました。

入学同期生41名のうち、日月と変則的な日程でしたが何とか都合のついた10名の出席となりました。

当日は午後3時にJR盛岡駅西口に集合し、連絡バスで会場の繫温泉「愛真館」に入り、一休みの後、会食（昭和の宴会）となりました。

会食会場では全員が近況や当日欠席した会員の状況等を報告した後、奇しくも令和5（2023）年は、入学後ちょうど50年になることを伝えたと、年月の過ぎ去る日々



を感じながらも、会食会場から2次会会場も含めて深夜まで、学生当時の思い出話などに花が咲き続けました。

翌日は、加齢の影響であるかもしれませんが、ほぼ全員が午前7時には起床し、一部は早朝の小岩井農場周辺へ今回幹事の案内でドライブに行ったりしました。

朝食後に、連絡バスで盛岡駅に戻り、2年後の再会を約束して、各自が盛岡市内・岩手県内などの観光に向かいました。

次回の第4回は、令和7（2025）年に、栃木県を除いた北関東で開催の予定です。

(文責：第3回幹事 小山 純)

6 畜産学科第25回生宇都宮に集う クラス会 (昭和52年3月卒業)

令和6年5月23日に宇都宮市のホテルニューイタヤにおいて、卒業後、第2回目となるクラス会を開催しました。当日の参加者は12名(同級生25名中)でしたが、2次会・3次会にも多くの方々に参加していただき、学生時代の思い出話に花が咲き、旧交を温めました。

卒業後の第1回目のクラス会は、8年前に開催し9名の参加をいただいたところですが、今回は卒業後約半世紀(47年)が経ち、新型コロナウイルス感染症も5類に移行し、宇大農学部創立100周年を迎え、さらには古希前後の節目の年でもあり、急遽開催したところですが、遠路、北は北海道、西は広島県・京都府・愛知県・長野県・千葉県・埼玉県から7名の方々に参加をいただき盛会にクラス会を開催することができました。

同級生は、古希前後を迎えておりますが、現役で家業に励んでいたり、第二、第三の職場で活躍したり、地域行政区・自治会などで役職等に就いたり、ボランティア活動に



後列左から 岡本⇒田澤⇒荒田⇒山崎⇒渡邊⇒山口
前列左から 鈴木⇒松山⇒田村⇒荒井⇒桑山(谷口)⇒小森
精を出すなど、夫々の地域において大きく社会に貢献していることが窺えました。

今回は急遽クラス会を開催することとなり、都合により又は健康上の理由で参加できなかった方々が多かったのではないかと思いますので、またこのような企画をさせていただきますので、次回のクラス会(後期高齢者突入前後か?)には、多くの参加を期待し、同窓会の報告といたします。

(文責:田村 孝二)

7 農芸化学科第27回卒業クラス会 クラス会 (昭和54年3月卒業)

参加者:岩淵(藤田)・神崎・武内(柴沼)・中野・檜山・村田・赤羽根・金城・佐山・矢部、幹事根岸(松村)・北爪・安部 13名

令和5年3月25日(土)、宇都宮市のホテルニューイタヤでクラス会を開催しました。コロナ禍前までは1~2年毎に開催してきましたが、コロナ禍により久しぶりの開催となりました。

今回は村田さんの発案と檜山さんの企画で、懇親会の前に宇都宮の街並みを散策する「ブラひやま」をしました。

まず、腹ごしらえでインドレストラン15(イチゴ)でランチ後、「歴史の薫る街中コース」と題して、太古の二荒山神社から大銀杏を経由して近世の宇都宮城への道を辿りました。

年には勝てず少し疲れながらも15時からはホテル会場に場所を移し、北爪幹事の挨拶の後、それぞれから近況報告をしてもらい、根岸さんの采配でビンゴ大会を行いました。ビンゴ景品は幹事の地元のみやげ品を持参したのですが、奇



遇なことに景品は幹事3人が当選する結果になってしまいました。学生時代の話や現在の過ごし方などで話が盛り上がりあっという間に予定の時間は過ぎてしまい、まだ話足らずに居酒屋に場所を変え2次会まで行いました。なつかしい旧友としばしの時間を過ごすことができ楽しいひとときでした。

次回は令和6年6月に栃木県内の温泉で1泊での開催を予定しています。次回は岩淵さん、神崎さん、中野さん、佐山さんが幹事となり楽しいクラス会を計画しますので楽しみに待っていて下さい。

(文責:安部 充)

8 農業経済学科 クラス会 昭和53年入学生同期会報告

出席者(敬称略)

芦川、飯村、石川、大森、小沼、開沼、加賀美、小太刀、小松、斎藤、篠崎、篠原、実川、鈴木、角山、武田、土山、露木、成田、橋本、成毛、半田、東、人見、伏木、益子、箕輪、茂呂田、八木、山久保、山本 31名

令和5年11月18日農学部100周年記念イベントに合わせて宇都宮市の山泉楼において同期会を開催しました。

同期会は卒業以来10年毎に開催してきた経緯はありますが、仕事等の都合で皆がそろって出席とはならない状況でした。65歳が近づき仕事を完全にやめる者も増え、そ



うした際に、『峰ヶ丘会報』で農学部100周年イベントのお知らせ。これを受けてはがき、電話等で同級生に呼び掛けようということになり、42名に参加を案内、北は仙台市、南は静岡市から31名に参加していただきました。

折しも入学当初からお世話になった五味先生の訃報もありましたが、ご多忙のところ津谷先生には快く参加いただいたほか、水本先生には温かい寄稿文までいただきました。本当にありがとうございました。

入学当時、コンパと言えばフランス式庭園、会費1,000円でお酒を覚えた我々が卒業後42年経過して中華料理を囲みながら近況を報告、仕事を辞めた後の抱負等をつまみに美味しいお酒を酌み交わし旧交を温めることが出来ました。『昔の飲み方からすると随分大人しくなったね。』と昔

のコンパを懐かしみ、また、『健康で次回同期会は3年後？5年後？』と再会を誓い合って散会しました。

LRTが建設されるなど、大きく変貌を続ける宇都宮市、峰町隈に昔の景色はほとんど残っていませんでしたが、夜中に自転車で友人の下宿を行き来する際に良く通った樫に囲まれた小径がかるうじて残っており、若かりし頃を思い出せました。次の同期会に向け、また健やかに毎日を過ごせそうな気がしております。

(文責：小松 武)

9 昭和46年畜産学科卒業 クラス会 同窓の集い

実施日時：令和6年5月10日 AM 11時～
場 所：浦和市「うなぎの満寿屋」
参 加 者：8名

コロナにより会う機会も制限されていたことから、参加者それぞれ活発な意見交換をしました。また、後期高齢者となり残り少ない人生となってしまった事から、次回の集いも早い時期に計画しようとの意見が出されました。昼食会で楽し



いひと時を過ごした後、全員で2次会も楽しんだところです。
(文責：矢島 清史)

10 農学科第12回生クラス会 クラス会 (昭和39年3月卒業)

級友全員が目出度く「傘寿」を通過した事を祝い、コロナ禍などで中断していたクラス会が5年振りに開催され、2023年11月17日(金)会場の宇都宮市内・ホテルニューイタヤに級友14名が集った。通算23回目のクラス会である。前回から可なり時経があるが、再会してみると5年前の級友の顔があった。

物故級友へ黙禱を捧げた後、地元庄司君の音頭で久しぶりの再会を祝い、今後のお互いの健勝を祈念して乾杯、懇親が始まった。級友諸氏の近況報告では、各人の生き様を披露し併せて年齢に起因する健康問題や病気治療中の悩み等の披露もあり、今までのクラス会と多少違った雰囲気も感じられた。和気あいあいの内に宴会も終盤に入り、クラス会の名物「松本君の世情替え歌」を今回も聴くことが出来て、一同大満足。即座に次回の再演を予約した。こうして約2時間半のクラス会は、橋本君の閉会の言葉をもって盛大裡に終了した。

唯、今回のクラス会は、酒豪達の酒量が落ち込み、常套であった酒の追加注文と恒例であった「二次会の設営」が珍しく無かった事が、特徴的であった。節目の傘寿を過ぎた高齢者達の集いとしては、むべなるかではありますが一抔の寂しさを感じた。

翌日朝食後、またの再会を楽しみにしつつ、一部は母校



第12回農学科生クラス会(2023年11月17日ホテルニューイタヤ)学園祭を見学するグループや創立100周年記念式典に参加する者、その他に分かれ自由解散した。

次回クラス会は、日時・会場等未定ですが、自分達の年齢も考慮して、余り間隔を開けずに集まりやすい地区(場所)で開催する事になりました。

最後に第12回農学科生の現状を付記します。母校を卒業して早60年。卒業時29名であった級友達は、2024年4月現在23名となっております。所在地別では、宮城県4名、栃木県6名、茨城県1名、群馬県1名、埼玉県2名、千葉県4名、東京都1名、神奈川県2名、大阪府1名、兵庫県1名であります。この内埼玉、千葉、東京に在住の級友間では、クラス会の他に年2回、主に上野、浅草を拠点に集い、交流を深めています。

(文責：澤井 孝慈)

11 農業経済学科クラス会 クラス会 (昭和53年3月卒業)

日 時：2023年10月2日(月) PM18時～
会 場：酒田市 魚屋 富重
参加者：14名

クラス会やろうかな～と思っていたら、コロナが発生し、送られてきたクラス会用の名簿は私の手元で何年も眠ったままに。

2023年はコロナも下火になってきたし、よし！今年こそやろうと思い気合いを入れて企画しました。

私たちの学年は3年生の時の農村調査が酒田市新堀地区だったので皆さん一度は酒田に来ています。私個人として

は農村調査が地元にあたってしまい残念な思いをしました。

実に卒業以来45年ぶり。とはいえ名前と顔が一致すれば、学生時代にタイムスリップできるのがクラス会の醍醐味。近況報告やらで話に花が咲きました。あつという間の時間でした。次回の幹事を決めて無事ハイタッチしました。鈴木さん、次回群馬でよろしくね～！

記念撮影をながめながら、みんなどんな45年を歩んできたのかなと、しばらく思いを巡らせました。

参加してくれた皆さんありがとう！

皆さん喜んでくれたので、本当にやってよかった思いました。



(文責：荘司 章子)

12 林学科10回生「慶祝記念」有終の同期会 クラス会 (昭和37年3月卒業)

日 時：2023年11月18～19日

場 所：宇都宮市「ホテル・ニューイタヤ」

(コロナ禍で5年ぶり)「卒業50周年記念・第17回同期会」は、2012年栃木で開催、50年ぶりの母校訪問でした。以後、各地域幹事会の企画で、2年毎に北海道(洞爺湖)・首都圏(東京)・東北(福島)で開催。毎回20人ほどが参加盛会でした。

次いで予定した2020年「同期会」は、コロナ禍で年々延期。やっと2023年、宇都宮で開催することができました。5年ぶりの再会。皆待ち遠しかったのか元気、参加者は10人でした。ただ、この5年間に8名が亡くなり、物故会員は17人。無念です。

(両慶事記念同期会) コロナ禍渦中の2022年は、「農学部創立100周年」且つ「10期生卒業60周年」の記念すべき年次でした。祝賀行事が翌年11月に延期され順延、「両慶事併せ祝する同期会」として開催することができました。

(式典～同期会～大学祭) 初日(11月18日)、100周年記念式典・講演会に出席(7人)、祝賀会は同期会と重なり欠席しました(宇大3C基金に些少寄付)。

式典終了後、宿泊ホテルで待望「第21回同期会」。冒頭、



物故会員を偲び黙禱、今後の会態様等確認(後述)。懇親交流会は、慶事・学窓懐古、近況報告に健康談義…と積もる話で夜半まで(各自酒量は激減)。

翌日(11月19日)、3ヶ月前開業「次世代型路面電車LRT」に乗車、母校に。大学祭「2023峰ヶ丘祭」各出展・森林科学科女子会展など見学、隔世の感。講堂・フランス庭園での記念写真。帰路、懐かしい「みんな餃子」駅ビル出店で会食。身体が一番と握手を交わし散会しました。

(同期会解散) 口は達者も足腰衰え80代半ば。健康・年齢等考慮、同期会諸行事は、今次有終の集い(交流会)をもって解散しました。会の歩み・会友の思い…諸々「最終同期会報告書」に収録。峰ヶ丘の絆・友情は永遠です。

(文責：山田)

13 農業経済学科クラス会 クラス会 (昭和46年3月卒業)

5年前に開催した古希の祝いを兼ねてのクラス会に続き、今回は、後期高齢者に達した節目を迎えての会を開催した(令和6年6月21日)。

場所は、JR宇都宮駅前の「ホテルニューイタヤ」で昼食会。卒業生44名のうち、物故者、行方不明者を除く約30名のうち、参加者は19名。

卒業後、53年ぶりに初めて顔を出した者もあり、全員から一人ずつショートスピーチをしてもらった。まだ、大学で非常勤講師をしていたり、会社経営を続けている者、登山やテニスなどのスポーツに明け暮れている者、とりわけ卓球の国際大会(自由参加)に渡航したり、小学生の卓球指導に精を出している者、野菜作りをして地元の道の駅に40種類以上を出荷している者、趣味の写真撮影、吹矢などにいそしむ者、極めつけは、映画の脚本作家を夢見て出筆活動続けている者などなど、個性豊かで多種多様な近況報告に、会は盛り上がり最高潮に達した。

思い起こすと、わがクラスメイトには、在学中からユニー



クな人材が揃っており、その個性、能力は70歳代後半に至って更なる進化を遂げている感覚を覚えた。

最後に、健康談議になり、大病を患ったが、運よく一命を取り留めて今は元気そのものという者も数名いた。人生100年時代に、この中の何人が100歳を越えられるだろうかとの声かけに、あいつとあいつは確実だろう、などと名指し合う一幕も。であれば、残り4半世紀をどう生きるか考えつつ、とりあえず80歳頃までを目途にクラス会を再開しようとの結論を得て、会は終了した。

(文責：伊藤 元久)